

次々と完成!

津波防災まちづくり

市では津波から皆さんの生命財産を守るため、津波避難施設などの整備に取り組んでいます。その整備状況についてお知らせします。

問い合わせ 建設課 道田 ☎(53) 2628



津波避難施設は全ての整備が完了

平成26年度から実施している津波避難施設の整備については、沿岸5地区の皆さまとともに作成した「津波防災まちづくり計画」に基づき、着々と進めてきました。

榛原地区では、これまでに津波避難タワー7基が完成し、相良地区においても、これまでに津波避難タワー2基と津波避難ビル1棟、防災公園2カ所が完成しています。牧之原市の津波避難施設は、12カ所全ての整備が完了しました。

津波避難地・避難路も今年度整備完了予定

相良地区で整備を進めている津波避難地・避難路については、これまでに14カ所が完成しています。

7月に1カ所が完成し、平成30年度はさらに5カ所(片浜、大江、須々木、落居、地頭方)の整備に着手する予定です。今年度末には、計画した20カ所全ての整備が完了する見込みです。

整備が完了した地区では、これらの施設を利用しての避難訓練がすでに実施されています。



ます。南海トラフ巨大地震などの大規模災害時には、慌てず、冷静な避難行動がとれるよう、日ごろから避難ルートを確認しておくなど、準備することが大切です。

防潮堤整備も進む

海岸部においては、静岡県が相良須々木海岸で、また市が地頭方漁港で、それぞれレベル1津波(*)を防ぐための防潮堤工事を実施しています。

引き続き、一日も早い完成を目指して、津波対策施設の整備を進めていきます。

*レベル1津波とは、本県がこれまで地震被害想定の対象としてきた東海地震のように、発生頻度が比較的高いもの(駿河・南海トラフでは約100年から150年に1回)で、発生すれば大きな被害をもたらす津波のことを指します。

- ①静波Aブロック避難タワー (静波10丁目)
- ②完成式典の様子
- ③相良地区防災公園 (相良区・福岡区)
- ④片浜3号避難地 (片浜区)
- ⑤⑥完成した避難地での避難訓練の様子 (落居区)
- ⑦⑧須々木海岸で進められている防潮堤工事

